



なぞって練習

書中に記すところは、西洋の諸書よりあるいはその文を直ちに訳し、あるいはその意を訳し、形あることにてても形なきことにてても、一般に人の心得となるべき事柄を挙げて学問の大意を示したるものなり。先に著わしたる一冊を初編となし、なおその意を拡めてこのたびの二編を綴り、次いで三、四編にも及ぶべし。

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）

- ・挙げて【あげて】
- ・著わし【あらわし】
- ・拡め【おしひろめ】